2012年3月2日（金曜日）の中日新聞にて

弊社社長の記事が掲載されました！

陸山会事件

虚偽報告 1年前に把握

東京地検 強制起訴の直前

小沢一郎民主党元代表（六）の資金管理団体「陸山会」の土地取引をめぐる事件に絡み、東京地検特捜部検事が実際にはなかったやりとりを捜査報告書に記載した問題で、地検が問題発覚の一年前に事実を把握しながら、故意ではなく問題ないと判断していたことが、検察幹部への取材で分かった。報告書は、元代表の強制起訴を決めた検察審査会の判断に影響を与えており、検察側の姿勢が問われそうだ。

地検が事実を把握した時は、検察官役の指定弁護士が小沢元代表を強制起訴する直前だったが、指定弁護士は田代政弘検事（四五）に伝わらなかった。

報告書は、小沢元代表の元秘書石川知裕衆院議員（三）を取り調べた田代検事が、石川議員から聞いた内容を報告する文書。作成者の署名や押印が必要で、公文書として扱われるが、決まった書式や作成義務はない。通常は捜査機関の内部資料として扱われる。刑事裁判では、弁護側と検察側の双方が同意しなければ、証拠にならない。

捜査報告書

検事や警察官が上司に捜査

現新潟地検＝が作成。審査会の一度目の議決後の二〇一〇年五月十七日、保釈中の石川議員を取り調べ、やりとりを問答形式で文書にし、同日付で特捜部長に提出した。

石川議員が政治資金収支報告書への虚偽記入を元代表に報告し、了承を得たと認めた理由を「検事から、議員なのにうそをついてはいけないと言われたのが効いた」と述べたと記載。審査会は同年九月、報告書を含む捜査資料を基に、元代表の強制起訴を決める二回目の議決をした。

しかし石川議員が取り調べ内容を隠し録音した記録から、弁護側がこのやりとりが実際にはなかったことに気づき、昨年十二月の元代表の公判で指摘。証人出廷した田代検事は「過去の取り調べと記憶が混同した」と証言した。

昨年一月上旬には、石川議員ら元秘書三人の公判前整理手続きの中で、同議員の弁護側が隠し録音記録を証拠提出。検察幹部によると、地検も報告書との食い違いに気づき、最高検に報告した。地検は田代検事から複数回、事情を聴いたが、「記憶が混同した」などと答えたため、大きな問題とならなかった。

指定弁護士は同月三十一日、元代表を強制起訴した。東京地裁は今年二月十七日の元代表の公判で、報告書について「田代検事の説明は信用できない」と認定し、石川議員らの供述調書を証拠採用しないと決めた。

この捜査報告書をめぐっては、市民団体が虚偽有印公文書作成・同行使容疑などで田代検事を告発し、東京地検が捜査している。

住宅全焼 4人死亡

群馬・桐生 母と子ども3人か

二日午前五時ごろ、群馬県桐生市新里町新川、会社員鏑木浩二さん（四三）方から出火、木造二階建ての住宅約二百八十平方メートルを全焼した。桐生署によると、焼け跡の二階部分からいずれも子どもとみられる二遺体が見つかったほか、鏑木さんの妻展子さん（四一）が死亡、鏑木さんと長女（二）の二人がけがをした。

鏑木さんの長男の市立新里東小三年丞一朗君（九）、次男の同一年紳之介君（七）、次女の幼稚園児史乃ちゃん（三）の所在が分からず、桐生署は遺体はきょうだい三人とみて身元確認を進める一方、出火原因を調べている。

桐生署によると、鏑木さん方は七人暮らし。展子さんは搬送先の病院で死亡が確認された。鏑木さんは手足などにやけど、長女は二階から飛び降りて足に軽傷を負った。鏑木さんの母（七）にけがはなかった。

展子さんと四人の子どもは二階、鏑木さんと母は一階で就寝中だった。隣に住む女性が一一九番した。

ハーフタイム

縁

フィランソロピー大賞という社会貢献活動をしている企業に贈られる賞があり、栃木県那須塩原市のパン屋さん「パン・アキモト」が特別賞を受賞した（二月二十二日・中日春秋）。

秋元義彦社長（五）とは十年ほど前、宇都宮支局にいた時に知り合い、付き合いが続いている。お祝いのメールをしたら「日本の優しさをパンに託して送り続けます」と返事が来た。パンの柔らかさを保った画期的な缶詰を開発、世界の被災地に送っているのである。

喜びはもう一つ。このパンを製造する機械を造ったのは静岡市駿河区の「昭和缶詰鋼機」なのだ。特殊な機械で全国的にも製造できる会社は少ないという。加勢田進悟社長（六三）は「うれしいね。彼は一生懸命やってますよ」と話した。縁とは不思議だ。（小寺勝美）

名古屋の高校生

1932枚の思

名古屋市の昭和高の生徒らが作成したパッチワークの横断幕を手にする大槌高の卒業生たち＝1日、岩手県大槌町で

「一緒に日本を盛り上げましょう」「同じ空でつながってる」…。横断幕は縦二メートル、横十メートル四方の布切れ千九百三十二枚にさまざまな思いが込められた。

昭和高二年の水谷司さん（一七）が「同じ高校生として被災地の卒業生のために何かできないか」と思い立ち、一月中旬から不用になった布を募るなど準備してきた。

同級生五人とともに校内で布を裁断していると、参加してくれる生徒が次第に増えた。校内のほか市内の医療機関や児童館にも呼び掛けてメッセージを募り、幅広い層の人たちが縫ってくれた。

パッチワークを思い立ち、一月中旬から不用になった布を募るなど準備してきた。

同級生五人とともに校内で布を裁断していると、参加してくれる生徒が次第に増えた。

校内のほか市内の医療機関や児童館にも呼び掛けてメッセージを募り、幅広い層の人たちが縫ってくれた。

し四月から岩手県内の大学に進む。横断幕の言葉に「たくさんの方々の応援がすごく心強い。これから頑張ろうって思います」とほほ笑んだ。

「最近3年間で1000億円の損失」

AIJ幹部

企業年金運用会社のAIJ投資顧問（東京）が顧客の預かり資産約二千百億円の大半を消失させた問題で、証券取引等監視委員会の調査に対し、同社幹部が「運用による損失は最近三年間で一千億円に上った。一年で五百億円の損失を出したこともあった」と説明していることが二日、分かった。

ただ、これまでの調査で運用について裏付ける一部の書類が見つかっていないことから、証取委は慎重に同社の資産運用の実態解明を進める。

岩手、宮城、福島3県の沿岸部に設置される津波到達点の標識

NTT東社員を収賄容疑で逮捕

光回線事業で便宜

NTT東日本（東京）の光回線を使ったケーブルテレビ事業の業者選定をめぐり、便宜を図った見返りに現金百数十万円を受け取ったとして、警視庁捜査二課は二日、NTT法の収賄の疑いで、NTT東の本社社員伊藤慶信容疑者（三六）＝千葉県柏市＝を逮捕した。

また同法の贈賄の疑いで、通信事業関連会社「アンビション」の社長竹内俊之容疑者（四一）＝東京都葛飾区＝を逮捕した。

逮捕容疑はことし一月下旬ごろ、伊藤容疑者が担当する光回線を使った映像提供サービス「フレッツ・テレビ」をめぐり、エリア拡大の市場調査をアンビションが受注できるように便宜を図り、都内で数回にわたって現金計百数十万円を受け取ったとされる。

か、住民が逃げて被害を免れた高台などにも設置する考えだ。

和合セントラルクリニック
人間ドック
愛知郡東郷町大字春木字白土1-1884
☎(052)805-8000(代)

3行コント

大学生の24%「平均」理解せず
平均点は気にしてるのに
——受験生（名務原・ハラグロ）

さよなら、マドモワゼル
ミスは許しません
——マダム（津島・含笑子）